

アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)

平成 27 年度 事業報告書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

## <平成 27 年度 総括>

財団事務局に ACY を設置し、相談業務を中心に横浜都心臨海部への人材集積、認知度の向上を担う中間支援組織として、横浜に集うアーティストやクリエイター・NPO・市民・企業・学校など、様々な創造活動を行う人たち(創造の担い手)をサポートしました。

### 1. 相談件数が前年比 106%

横浜に集うアーティストやクリエイター・NPO・市民・企業・学校など様々な創造活動を繰り広げる人たち(創造の担い手)の相談 160 件(前年比 6.6%増)を受けました。これまで培ってきた官民双方のネットワークを活かしてアドバイスからマッチング、コンサルティングまで幅広く対応し、企業・行政とデザイナー、クリエイターとのマッチングでは、相談を受けるだけでなく、デザインコンペティションのコーディネート等も行いました。

### 2. 創造都市横浜における創造的活動支援助成採択のアーティストが活躍

前年から継続して採択した「岡崎藝術座」の公演は第 60 回岸田國士戯曲賞最終候補となり、国外(ベルギー)の「クステン・フェスティバル・デザール」に招へいされるなど内外で活発に公演活動を行っています。山田うん は 2016 年度の文化交流使に指名され、作品はイスラエルなどでの改訂上演が決定しました。連作ショートフィルム「Life works(ライフワークス)」(制作:利重剛)は上映が注目を集め、メディアでも多く紹介されました。

### 3. アーティスト・クリエイターのための事務所等開設支援助成 2 年間で 23 件

制度を変更して2年目となり、横浜での活動を考えるアーティスト・クリエイターからの相談を助成申請につなげ、年間で 10 件を採択しました(申請 13 件)。横浜市中期 4 か年計画の目標数値(平成 29 年度までに 30 件)の達成に向け、今後も誘致に努めます。

### 4. 「TPAM in YOKOHAMA 2016」約 18,800 人が参加

横浜市に移転して6回目となり、創造界隈拠点での国際的なイベントとして定着しました。昨年から強化しているアジアとのネットワークづくりが更に進み、共同製作(コプロダクション)プログラムが高い評価を得ました。参加者数は 18,773 人(前年度 14,200 人)、海外からの参加者も 292 人(前年度 183 人)といずれも大きく増え、より豊かな国際ネットワークづくりに貢献しました。

### 5. WEB マガジン「創造都市横浜」のアクセス減、FB いいね！平行、twitter フォロワー数が微増

媒体名	H26 数量	H27 数量	前年比
創造都市横浜アクセス数	1,803,316	1,455,324	80%
Facebook いいね数	20,879	20,612	98.7%
twitter フォロワー数	6,367	6,933	108.8%

## 1 相談業務

(1)相談件数(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月) 総数 160 件

内容		相手方	
紹介／マッチング	38	アート系	51
企画全般	35	行政	34
情報提供	23	一般企業	30
移転	20	クリエイター系／創造産業系	28
視察／調査／取材	18	大学	8
助成	8	市民団体	5
広報	8	オーナー	3
その他	10	マスコミ	1
合計	160	合計	160

## (2)主な実績(成果物)

- ①馬車道 150 周年ロゴタイプ  
デザイン/天野和俊氏  
(馬車道商店街:デザインコンペ実施)
- ②はまっごどうし The Water  
ラベルデザイン構成/(株)カラーコーディネーション  
(横浜市消防局:デザイナー紹介)
- ③YOKOHAMA STAR☆NIGHT2015 うちわ型フライヤー  
グラフィックデザイン/入手光一  
(横浜 DeNA ベイスターズ:デザインコンペ実施)
- ④ザよこはまパレード ポスターデザイン  
デザイン/ハッシュ  
(横浜商工会議所:デザインコンペ実施)
- ⑤横浜市内読売会/横浜市 うちわコンペ  
コンペサイト運営/アークフィリア  
(横浜市内読売会、横浜市政策局、文化観光局  
アークフィリアのタイアップコーディネート)  
など。

①



②



③



④



## 2 創造活動支援

### (1)創造都市横浜における創造的活動支援助成

応募総数:66 件

採択件数:11 件、交付総額:7,000,000 円

審査会:5 月 14 日

審査員:帆足亜紀 (横浜トリエンナーレ組織委員会事務局 プロジェクト・マネージャー)

山口真樹子 (国際交流基金 文化事業チーム 舞台美術コーディネーター)

中川克志 (横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 准教授)

前年度から実施する、芸術や産業、まちづくりなど、幅広く創造都市横浜の振興に寄与する活動を支援する助成です。

今年度も、66 件という多くの応募があり、表現ジャンルも演劇・ダンス、美術、音楽、映像・写真、古典・民俗芸能ほか多岐にわたりました。

助成事業に対してはアドバイスや広報で協力・支援し、交付団体との協働の成果を出しました。また、審査員と ACY 職員が視察して所感を伝えるとともに、終了後の交付団体からの意見もヒアリングし、双方の今後の活動に活かします。

#### <助成事業> ※順不同

##### ①特定非営利活動法人 映画美学校

###### 中編映画製作を通じた映画人育成ワークショップ

プロの映画監督が監督する一本の中編映画(30~40分)に受講者がスタッフとして参加、シナリオ~準備~撮影~編集~仕上げまでのすべての行程を経験し、実践的な映画教育を受ける。映画のテーマは「横浜という街から発想する劇映画」。横浜シネマリンを主要ロケセットとし、横浜臨海部・市内及び都内を舞台にロケーション撮影。完成作品は横浜シネマリンにてプレミア上映。



実施(作品制作)期間:平成 27 年 6 月~平成 28 年 2 月

作品完成上映会:平成 28 年 2 月 27 日

助成額:70 万円

##### ②有限会社大丈夫

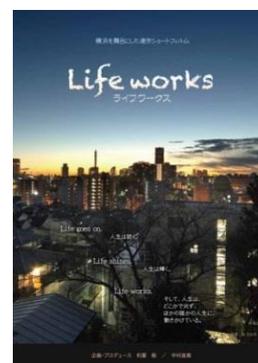
###### 連作ショートフィルム「Life works(ライフワークス)」

横浜を舞台に、日々を生きる普通の人々の人生の一瞬を切り取る人間ドラマを、5~15 分のショートフィルムとして年間を通して制作。完成した作品は、横浜の映画館で本編上映の前に無料上映。プロデューサーは横浜在住の映画監督・利重剛と中村高寛。

活動期間:平成 27 年 12 月まで毎月上映、3 作品の撮影完了

上映会場:シネマ・ジャック&ベティ、横浜シネマリン

助成額:70 万円



### ③森川 正信

#### よこはま・かながわの地域を知る&地域を楽しむ“LOCAL FIRST WAGON”プロジェクト

前年度の助成で“LOCAL FIRST WAGON”を完成。これまでの繋がりを活かして、横浜・かながわで活動するクリエイターが地域の資源を活かして「地産地消のプロダクト」を開発、その発表&販売の場として“LOCAL FIRST WAGON”を位置付け、多くの人たちが訪れる場を生み出す。

活動期間:平成 27 年 6 月～平成 28 年 2 月、ワゴン完成イベント:  
平成 28 年 3 月 4 日  
会場:mass×mass 関内フューチャーセンター  
助成額:50 万円



### ④振り子びじん

#### 「Urban Folk Entertainment」

土地に伝わる民俗芸能のように、自身が暮らす都市から生まれる芸能をつくる試みとして始動したシリーズ作品第一弾。本編上演前にプレパフォーマンス、プレトークを実施。公演終了後に日英バイリンガルの記録集を作成。

公演:平成 27 年 6 月 25 日～6 月 27 日  
会場:横浜赤レンガ倉庫 1 号館ホール  
助成額:60 万円



photo by Kazuya Kato[FAIFAI]

### ⑤一般社団法人 Co.山田うん

#### 新作公演「舞踊奇想曲 モナカ」

これまでの活動をふまえ、さらに一歩先の新しい舞踊作品の姿を見出す。日本人独特の身体言語、テンポ、リズムに焦点をあて、音楽家とのコラボレーションで、先端の舞踊芸術として強度を増した作品を提示。

公演:平成 27 年 9 月 17～20 日(全 5 回公演)  
会場:KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ  
助成額:100 万円



撮影:羽鳥直志

### ⑥株式会社エデュイトジャパン シネマ・ジャック&ベティ 第 4 回 横浜中華街映画祭 2015

中国・香港・台湾映画を上映するのに日本で最もふさわしい場所“横浜中華街”で映画祭を開催。新作上映・監督特集・名作上映など。支配人との交流イベントや食事とのセット上映を企画。京劇(剣舞)など国慶節、雙十節イベントとも連携。

会期:平成 27 年 9 月 19 日・21 日・26 日・27 日、10 月 1 日・3 日・4 日・10 日  
会場:中華菜館 同發新館ホール  
助成額:60 万円



## ⑦始末をかくプロジェクトチーム

### 始末をかく 4「茶屋に求めなければならぬ」

JR 関内駅から 30 分圏内の空き部屋・店舗・スペース等に四畳半の「茶屋」を5カ所設置。様々な地域アートプロジェクトに参加した経験を持つプロジェクトメンバーが場に合わせて作る各「茶屋」では、観客が鑑賞・参加できるイベントやオブジェクトがあり、鑑賞者は作家からの手紙(指示書)を読みながら場所を巡る。歩く演劇スタイルで、参加者同士、作家と鑑賞者が交流する。

開催日:平成 27 年 10 月 3 日、4 日、10 月 10 日～12 日

会場: bear(横浜市中区常磐町)、blanClass(南区南太田)、横浜市民ギャラリー一ほか約 10 か所

助成額:80 万円



## ⑧30 秒に一回みつける写真道場!!

### みつける日常ヨコハマ/だれかの 365 日とアーティスト

1 年間に撮ったデジタル写真全てを高速スライドショーで見せながら、高速で解説するという新しい表現を展開。4 組のアーティストをアドバイザーに迎え、1 年の写真を発表してくれる人を一緒に探し、プレゼンテーションの手法を一緒にアレンジ。同じプログラムをソウルでも実施予定。

会期:平成 28 年 2 月 6 日～14 日

会場:ハツネウイング A(黄金町高架下)

助成額:50 万円



## ⑨岡崎藝術座

### 新作『イスラ!イスラ!イスラ!』+『+51 アピアシオン, サンボルハ』同時上演

新作は、架空の島を舞台にさまざまな文化・言語・政治が衝突、融合、変貌しながら、文化習慣や言語＝社会を形成するさまを、島という外部との境界がわかりやすい空間に濃縮したかたちで表現。つながりのある旧作(前年度助成事業)と同時上演することで、相互作品理解を促し、今後の世界の広がり想像するものとした。TPAM での上演をきっかけとして国内外へ展開。

公演:平成 28 年 2 月 3 日～8 日(全 9 公演)

会場:ST スポット

助成額:60 万円

TPAM2016 ショーケース参加



## ⑩富士山アネット

### DANCE HOLE

映像インスタレーションや身体表現等複合的なアプローチを通じて、空間と其処に居る観客自身を映し出す作品。ダンスを演劇の文脈で取り上げていくことで、観客に新たな体験をしてもらい、演劇層、ダンス層、どちらか片方のファンのみでなく、両方を見てもらう層を育てることを目的とする参加型の公演。

公演：平成 28 年 2 月 4～9 日(全 28 公演)

会場：横浜にぎわい座・のげチャーレ

助成額：50 万円

TPAM2016 ショーケース参加



## ⑪マツクロッシング実行委員会

### マツクロッシング

日韓の民俗芸能の演者と幅広いジャンルで活躍するミュージシャンが集い、互いの文化的背景や立場を越えて舞台を作り出す。観客参加型ワークショップを行うことで世界に東アジアの文化的魅力をアピール。美術家も参加し、しめ縄や韓国伝統の人形づくり・展示も実施。多文化が出会う地である横浜らしい芸能の祭典。

開催日：平成 28 年 2 月 27 日

会場：横浜にぎわい座 小ホール「のげチャーレ」

助成額：50 万円



## (2) 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama 2016)

今年で開催から 21 年目を迎えるアジアで最も古い国際的な舞台芸術のプラットフォーム。PARC (国際舞台芸術交流センター) を事務局に、当財団、国際交流基金、公益財団法人神奈川芸術文化財団の 4 者が実行委員会として主催し、組織の垣根を越え、都心臨海部の創造限界を中心に多様な文化施設が協働しました。

9 日間にわたり、同時代の舞台芸術に関わるプロフェッショナルが国や地域を超えて出会い、公演、ディスカッション、ミーティングなど多彩なプログラムを通して情報交換、相互学習、ネットワーキングを行いました。より豊かな国際ネットワークづくりに貢献し、様々な作品・人材を横浜から世界へ発信しました。

会期：平成 28 年 2 月 6 日～14 日

会場：BankART Studio NYK、

YCC ヨコハマ創造都市センター、

KAAT 神奈川芸術劇場、

横浜赤レンガ倉庫 1 号館 ほか

総来場者数累計：18,773 名

登録者＋アーティスト：716 名

うち来日アーティスト・ディレクター  
等：海外 40 カ国から 292 名

(前年度 183 名)



プログラム数：

- ・ TPAM コプロダクション：2 演目 5 公演+1 展示
- ・ TPAM コンテンポラリー・クラシックス：2 演目 4 公演
- ・ TPAM ディレクション：9 演目 20 公演+2 展示
- ・ TPAM ショーケース：36 団体 46 演目 219 公演
- \* TPAM エクスチェンジ：ネットワーキング 264 コマ、グループミーティング 74 コマ
- ・ 提携事業：4 プログラム

\* 国内外から舞台芸術関係者が参加する、TPAM ならではのプロフェッショナルのためのプログラム。情報の共有・更新、ディスカッション、ミーティングの場。

当財団からは、ACY 職員（相談・助成制度の説明）、赤レンガ倉庫1号館事業担当職員、横浜市民ギャラリーあざみ野事業担当職員が参加しました。

別紙参照（TPAM 第二回実行委員会資料）



撮影：大野隆介

### 3 創造まちづくり支援

#### (1) アーティスト、クリエイターのための事務所等開設支援助成

応募総数：12 件（一期 5 件、二期 8 件）

採択件数：10 件（一期 4 件、二期 6 件）

交付金額：3,519,380 円

審査員：井手美由樹（中小企業診断士）

田中陽明（建築家、春蒔プロジェクト主宰、co-lab 企画運営代表）

日沼禎子（女子美術大学芸術学部アートプロデュース表現領域准教授）

審査会：一期 8 月 24 日、二期 1 月 21 日



交付先		分野	金額
1	フロッグス株式会社	アートディレクション	257,400
2	株式会社ボイス	アートディレクション	196,020
3	佐藤未来	美術(インスタレーション)	481,950
4	KAIE (吉沢香代子)	美術(リメイク・アート)	234,000
5	TeamZ00 アトリエ・モバイル/有形デザイン機構	建築設計、デザイン	494,346
6	稲山 貴則	設計	214,740
7	有限会社 Horizont デザイン事務所	Web 制作、デザイン	921,644
8	池田建築設計	建築設計、デザイン	301,680
9	加山 由起	美術(日本画・陶芸)	210,600
10	株式会社ミニモ	工業デザイン、開発	207,000
合計			3,519,380

### (3) 関内外OPEN!7



都心臨海部に集積したアーティストやクリエイターが、クリエイティブ好きの市民に向けてスタジオを開き、ワークショップやトークを共に楽しむイベントです。7回目を迎えた今年は、リニューアルを行い、より深く市民とクリエイターが交流する機会となりました。

日程：平成27年11月7日（土）、8日（日）

事業内容：アーティスト・クリエイターのイベント

全体で35プログラム（うち有料21プログラム）

料金：有料（一部無料）

入場者数：1,278名

ひらがな商店街アートスペース「と」	【ワークショップ】	ワンコイン工作教室「カラフルバック」、電子工作に挑戦しよう！「イライラ棒」
ドゥイの子ども造形教室	【ワークショップ】	予想外！ぐるぐる即興工作
LAUNCH PAD GALLERY	【ワークショップ】	紙版ドライポイントワークショップ
コラボ合同会社	【ツアー】	寿町&まちづくり拠点見学ツアー
BUKATSUDO	【トーク】	「BUKATSUDO」って、どんなところ？
NPO法人THE DARKROOM INTERNATIONAL	【ワークショップ】	B&W写真を自分の手でプリントしよう！
ユー・エス・エム株式会社	【ワークショップ】	オンリーワンのマイバッグを作ろう！
NDCグラフィックス	【見学】	NDCグラフィックスのオープンスタジオ～元倉庫のデザイン事務所を限定公開
有限会社アイトゥーン(LTOON Ltd.)	【見学】【鑑賞】	Harbor Tale スタジオ見学ツアー&鑑賞トーク
関内イノベーションイニシアティブ株式会社	【トーク】	クリエイティブシティ横浜の起業家～テクノロジーで街を変える！映像とアプリのこれから～
宇徳ビル ヨンカイ / 協力:株式会社 宇徳	【見学】【ツアー】	宇徳ビルヨンカイOPEN!&ツアー
株式会社みかんぐみ	【トーク】	みかんぐみを語る1995-2015
小泉アリエ	【トーク】	「OPEN!飲み会 ヨイコイズミ」
横浜コミュニティデザイン・ラボ	【ワークショップ】	さくらWORKS<関内>ワークショップコレクション
泰生ポーチ	【見学】【展示】	泰生ポーチOPEN!
NOSIGNER	【展示】【お茶会】	NOSIGNER展 + tabelの葉草茶会
bear (武久 絵里)	【ワークショップ】	まばたきのたいいく
宇徳ビルヨンカイ	【トーク】	横浜でクリエイティブに生きるとは？～北仲BRICK&WHITEから10年、この先10年～
TripHugger 株式会社	【ツアー】	TripHuggers Yokohama Tour@関内外OPEN!
松島ビル4F シェアオフィス(コンテンツポラリス、天野和俊子デザイン事務所、ケーティアーキテック)	【ワークショップ】	親子で馬車道におうちをつくらう！(子供ワークショップ)
KAIE【共催】 Fabiab kannai	【ワークショップ】	目立ちたがり屋なキーホルダー作り
横浜市都市整備局都市デザイン室	【関連イベント】【トーク】	OPEN MEETING! 都市デザイン ～次世代による横浜の見立て・使い直し～
株式会社 スタジオゲンクマガイ	【ワークショップ】	ペランダー！ミニプラントーツづくりワークショップ
有限会社スタジオニブロール・木村直樹建築設計事務所・サッコデザインオフィス、樋口昌美	【トーク】	スタジオニブロール+木村直樹+サッコデザインオフィス活動報告会
アスカコヤマックス、スリーパーユニット、テラーランド他	【ツアー】	築85年の建物で働くクリエイターのオフィスツアー
横浜元町AASTUDIO	【展示】【お茶会】	くらしの中に侘(わび)寂(さび)を～抹茶体験～
Archishop Library&Cafe	【ショップ】	第6回 アート+骨董マーケット
Cafe Dining SAKAE	【フード】	大きなテーブルが一枚だけのレストランでケータリングフードを愉しむ
MA-office	【ツアー】	長者町アートプラネット
映像グループ ローポジション	【トーク】	映像制作「無料」相談会
福富町 六反	【ワークショップ】	「六反」でする陶芸体験
nitehiworks	【ワークショップ】	「ボックスギャラリー」教室
シネマ・ジャック&ベティ	【見学】	ミニシアター見学・説明&映写室ツアー
旧劇場	【ツアー】	旧劇場OPEN! & ツアー
リンクバル	【街コン】	横浜アートDE街コン×関内外OPEN!7

(4) ドックヤードガーデン活用事業（施設名：BUKATSUDO）



ドックヤードガーデン活用事業運営協議会を通じて、参加5社（横浜市、三菱地所（株）、三菱地所プロパティマネジメント（株）、（株）リビタ、当財団）で情報共有を行っています。

“大人のためのシェアプレイス”をコンセプトに作られた施設は、みなとみらい地区で働く人々の心をつかみ、新たなコミュニティ拠点へと成長しています。今年は、BUKATSUDOの利用者の紹介や、講座講師となるクリエイターの紹介などを行いました。

5 創造都市プロモーション、広報

文化芸術創造都市・横浜の取り組みを、首都圏を中心に広く周知するため、横浜市都心部における諸活動を紹介するプロモーション活動を行う事業です。イベント等の催事のほか、創造都市政策のもとに横浜に集った人材やプロジェクトなど、日常的な営みをウェブサイト(SNS 含む)を運用して発信しました。

### (1) WEB マガジン『創造都市横浜』

創造都市横浜の魅力を紹介するメディア。Facebook、Twitter 等の SNS と連動し、取材・執筆を基本に「読みもの」として情報発信を行っています。

期間:2015年4月1日～2016年3月31日

掲載記事:WEB サイト 69本、Facebook 375本、Twitter 161本

SNS:ほぼ毎日更新

編集方針:アート、産業、まちづくりなど、広くクリエイティブな活動を取り上げる。イベント情報に限らず、日常的な取り組みや中長期的なプロジェクトなども読み物化しストーリー性を加えて紹介する。アートツーリズムの視点を加え、クリエイティブな視点で楽しんでもらえるよう横浜の街を紹介する。①特集、②ひと、③街、④モノ、⑤コト、⑥食べる、⑦おみやげ、⑧コラム、⑨注目イベント、⑩イベントレポートの10カテゴリーを設け、記事を作成。

#### ①アクセス数 (URL: yokohama-sozokaiwai.jp 内)

月	アクセス数	月	アクセス数
4月	86,514	10月	129,321
5月	82,821	11月	120,010
6月	91,550	12月	135,412
7月	99,952	1月	182,771
8月	97,637	2月	185,761
9月	93,420	3月	150,155

合計 1,803,316 (前年度比116%)

#### ②Facebook いいね数推移

月	いいね数	月	いいね数
4月	20,875	10月	20,686
5月	20,837	11月	20,663
6月	20,802	12月	20,663
7月	20,787	1月	20,628
8月	20,740	2月	20,611
9月	20,708	3月	20,612

#### ③Twitter フォロワー数推移

月	フォロワー数	月	フォロワー数
4月	6,414	10月	6,773
5月	6,493	11月	6,760
6月	6,541	12月	6,767
7月	6,583	1月	6,816
8月	6,600	2月	6,867
9月	6,714	3月	6,933

## (2)ヨコハマ創造界限メールニュース

内容:創造都市横浜サイトの記事更新にあわせて配信。

配信数 3771

## (3)創造界限ツアー

Triphugger ツアーの開催、関内外 OPEN!と連携して街コンツアー等を開催。

## 6. アーティスト・イン・レジデンス

平成 24 年度から実施している横浜と成都のアーティスト・イン・レジデンス交流事業。

今年度も、成都の A4 当代芸術中心(A4 Contemporary Arts Center)・黄金町エリアマネジメントセンターと協力して相互に派遣・受入れしました。

日本人アーティスト:吉本直紀

滞在期間:2015 年 7 月 7 日~8 月 31 日

滞在场所:A4 Contemporary Arts Center

作品:『変異之夢 the Mutate Dream』

成果発表:8 月 29 日~9 月 29 日(A4)

10 月 1 日~11 月 3 日「黄金町バザール」(黄金町)

10 月 3 日 中華街映画祭(助成事業)で上映(同発新館)



A 4 での展示風景

中国人アーティスト:张晋 ZHANG JIN

滞在期間:2015 年 8 月 10 日~10 月 13 日

滞在场所:CHAP(長者町アートプラネット)

作品:『去年はニューヨークにいた』『1832 年ドイツの化学者リービッヒの発明』『その土地の知識』

成果発表:10 月 1 日~11 月 3 日「黄金町バザール」(黄金町)

\* 市内各所(財団各施設、黄金町、寺社)で様々な人と交流。

また、横浜中華学院でワークショップを実施(美術の授業)。



『1832 年ドイツの化学者リービッヒの発明』